

○岡山市立妹尾中学校の授業見学ー池田家文庫絵図の学校教育への利用ー（報告）

日時：平成17年10月13日（木） 9:45ー10:35 2-A クラス
11:45ー12:35 2-B クラス

場所：岡山市立妹尾中学校 図書館

指導者：岡山市立妹尾中学校教員 山本先生
岡山市デジタルミュージアム 山本先生

生徒：岡山市立妹尾中学校2年生（各クラス30～40名）

単元：身近な地域の歴史／「近世の産業の発達」～ 博物館資料の活用

※ 上記の単元は、中学校社会科（歴史的分野）の単元として、第1時から第6時までで構成され、10月13日の授業は第6時（最終）の授業にあたるものであった。
（添付資料参照）

■ 授業内容（第6時）

- ① 本時のねらいを知る。（妹尾中学校 山本先生）
本単元に関して前回までに生徒が作成したレポートを印刷したものを配布。
生徒に内容を確認（黙読）させる。
- ② 配布されたレポートから、干拓に関する前回の授業までの調べ学習の内容の確認。
本授業の内容への導入。（妹尾中学校 山本先生）
 - ・指導者から生徒へ質問
 - ・干拓の主体、干拓の経緯など。
 - ・江戸時代、児島湾においては干拓が約100年進まなかった時期があるのはなぜか？ 【本授業の内容（備前備中の国境争乱）への導入、課題の提示】
- ③ 江戸時代の備前備中の国境争乱に関して解説（DM 山本先生）
 - ・江戸時代初期からの干拓地の変遷の解説。
（江戸時代初期からの海岸線、干拓地の変遷を色分けして示した地図の提示。）
 - ・備前備中の国境争乱の解説。
（T8-71 児島内海分間見取絵図の複製2枚、デジタル画像（拡大縮小可能）の提示。）
 - ・備前備中の国境争乱の歴史を示す現存しているものの紹介。
（備前備中の国境を示す国境石の写真の提示）。
 - ・岡山大学所蔵貴重資料デジタルコンテンツ作成委員会の池田家文庫絵図パンフレットの紹介。

■ 学校教育の指導者、学校図書館員の意見

まず池田家文庫絵図の学校教育への活用方法としては以下の2通りの方法が考えられる。

(A) 社会科や総合学習の授業の単元として、複数の授業時間を設けて調べ学習を進めていく授業で利用する。

(B) 1回の授業時間で、地域に特化したトピックを扱う授業で利用する。

（ただし、トピックとして1回の授業を社会科の授業として行うことは、年間のカリキュラムに組み込みにくい。）

- ・実際に触れることができたり、大きな資料であったりするとインパクトがあって良い。
- ・単元や授業計画を設定しても、その授業でどのような資料を利用できるのかが分からない。
→ 授業の主体者（指導者）と資料を仲介する者や、郷土資料を教材に加工する者がいることが望ましい。
- ・郷土資料は言葉の意味等も難しく、中学校の生徒にとって難しいと思われる。
→ 分かりやすい郷土資料や教材があることが望ましい。

※ 今回の授業の様子では、授業において印刷物の資料が中心に利用されていると感じた。
各学校のネットワーク環境によって、必要とされる教材の形態も異なると予想される。